

2020「高齢者介護施設」シンクロニ模試講評

■シンクロニ模試解答例・解題その他資料一式をお送りします。

模試受験お疲れ様でした。受験されなかった方もしっかりレビューを観て研究しておいてください。

■失格ポイントが多かった模試

失格ポイントをそれほど用意していなかったのですが、実際に結果を見てみると失格系のミスが多い課題となりました。

1) 上下階不一致、2) 室数オーバー、3) 吹抜け抜け、3) 面積アンダー・建ぺい率オーバー、4) 切断位置ミス
5) エレベーター設置違反、6) O防抜け等です。特に2 ユニットと間違えて解答した方、屋根勾配が表現できなかった方は猛省しつつ本試に臨みましょう。(失格者は 64.4%)

■面積がアンダーで転けそうになる課題

常に建築計画的なアプローチとしては、最小限面積で組み立てていくという手法が一般的ですが、この課題については、基準階を 12 コマで計画すると、1/2 階で面積が食えない、建ぺい率も厳しいということで、早めに少し基準階にラウンジ作ったりして余裕を持たせておけば、という展開になった方も多いと思います。ただ原則としては、基準階は最小限で作っておかないとオーバーする場合に減ずるのは非常に難しいので、型から入って最小限に計画するということをイメージしてください。

■特別避難階段 or 全周バルコニー + 屋外避難階段

特養もしくは介護型有料老人ホームについては、3 階以上に計画する際、階段を特別避難階段 or 全周バルコニー + 屋外避難階段にする必要があります。大手各社も最後は説明するはずなので、試験範囲と見てよいかと思われます。付室は 2m² の自然給気と 1m² 程度の機械排煙か、延焼ラインに掛かっていない外気に面した開口部が必要です。

■方位が 45 度振れている問題

方位が振れている場合、360 度採光だけでなく日照が確保可能となります。もちろん南東南西が最も日照量は多いのですが、北東北西も 1 日のうち何時間かは日照があり、日照必須の条件が出題されたときも一応対応可能となります。居住系の課題の場合、過去にも何度か方位が振れている課題が出題されています。日照と採光については非常に敏感に扱うように留意してください。

■シンクロニ模試の内容の添削結果については、10 月 2 日金曜日夜を目処に下記ページに記載します。

ご不明な点は、製図試験.com 山口までご一報ください (guchi@seizushiken.com)

<https://seizushiken.com/2020syn96/>

では最後の最後まで諦めることなく、本試験に向けて気持ちをゆっくり確実に集中していきましょう。
皆様の合格を祈っております。

2020 年 10 月 2 日

製図試験.com 代表山口 達也